⑶　資金不足比率の状況

（単位：％）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）	
	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	42.9	6.4	1.1

⑷　その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・経営状況や経営健全化計画の概要を町広報紙等により公表するなど、積極的な情報公開を実施。

2　今後の公営企業の経営の方針

⑴　健全な経営の確保に関する事項

①　収入の増加に関する事項

・町の利子補給制度やリフォーム補助金制度など、各種支援制度を活用した水洗化率の向上。
・旧町毎に異なっている使用料金を適正な料金に統一。
・未収金の徴収対策を引き続き実施。

②　支出の削減に関する事項

・民間委託の推進や施設の適切な管理による長寿命化など、経費節減に向けた取組を継続。
・不明水の発生原因の解明と減少対策の実施。

⑵　その他公営企業の経営の合理化に関する事項

・職員の意識改革や住民への経営状況の公開を引き続き推進。

静岡県熱海市　温泉事業会計

経営健全化計画完了報告（要旨）

1　経営健全化計画の平成21年度実施状況

⑴　計画と具体的な措置の状況

・人件費の削減については、当初計画どおり実施（退職者不補充により１名削減）。
・一般会計からの繰入れ等については、当初計画どおり実施（補助金3,000千円、出資金7,200千円、長期借入金40,000千円）。
・維持管理費の削減については、当初計画どおり実施（借用源泉を１源泉契約解除）。

⑵　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）
当初計画　A		117,389
解消実績額　B		132,397
現在計画　C		132,397
B－A又はC－A		15,008
資金不足額	143,474	11,077

⑶　資金不足比率の状況

（単位：％）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）	
	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	30.3	5.6	2.4

⑷　その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・中長期的に健全な経営を実現するため、平成30年までの財政計画を策定済。

2　今後の公営企業の経営の方針

⑴　健全な経営の確保に関する事項

①　収入の増加に関する事項

・平成20年４月に平均改定率18％の料金改定を実施したが、今後も定期的な料金改定を実施（平成24年度に平均改定率13％程度で予定）。
・今後とも、積極的な遊休資産の売却及び貸付を実施。
・未収金の滞納整理業務等を強化。

②　支出の削減に関する事項

・平成20年度に８名であった職員を平成22年度に事務改善等により１名の削減を行った。
・平成20年４月から行っている職員給与の平均８％減額については、平成22年度も継続する。
・配湯経路の見直しによる低温源泉の廃止、休止により、源泉の維持管理費の削減を図る。
・余剰施設の廃止、統合を行い施設の稼働率や利用率の向上を図ることなどにより、維持管理費の削減を図る。

③　その他

・更新時期を迎えた老朽管等への集中投資を行い、経営基盤の強化に直結する有収率の向上を図る。

⑵　その他公営企業の経営の合理化に関する事項

・大口多量利用者を対象に「利用者経営協議会」の設置を検討し、広報広聴制度を拡充することにより経営合理化を行う。
・温泉施設は、耐用年数が比較的短いことから、企業債及び一般会計出資（繰入資本金）による建設改良費を捻出する方策を検討する。

○法務省告示第四十号

動産・債権譲渡登記令（平成十年政令第二百九十六号）第七条第三項の規定に基づき、法務大臣が指定する磁気ディスクくの記録方式を次のように定め、平成二十三年二月十四日から施行する。なお、平成二十年十二月十五日法務省告示第五百五十二号は、平成二十三年二月十三日限り、廃止する。

平成二十三年一月三十一日

法務大臣　江田　五月

第１　使用する媒体等

1　申請磁気ディスクの構造及びトラックフォーマットは、次のいずれかとする。

⑴　90ミリメートルフレキシブルディスクカートリッジ（以下「ＦＤ」という。）

構造は、工業標準化法（昭和24年法律第185号）に基づく日本工業規格（以下「日本工業規格」という。）X6223により、トラックフォーマットは、日本工業規格X6225による。

⑵　90ミリメートル光ディスクカートリッジ（以下「ＭＯ」という。）

構造及びトラックフォーマットは、日本工業規格X6272、X6275又はX6277による。